



●いつでも夢を！

人間、やれる時にやったほうが良いね！周囲にも言われてきた言葉ですが、今までを振り返って実感する今日この頃です。どなたもいろいろな環境に恵まれて、楽しんで一生懸命に入れ込んで来た経験がおありの事と思います。頑張れる時に頑張らないと自分の歴史を将来語れないですよ！と鬼怒川温泉で旅館を営む女将さんが、ことあるごとに言われておりました。それは楽しい思い出ばかりに変わって行くもので、結果は出せなかったことでも自分の歴史が語れるように成るものですから、好きなことも必要に迫られての事でも、一生懸命が良いですね！今、アメリカで活躍している大谷翔平さん、小学校時代から一生懸命走れ！一生懸命投げろ！一生懸命打て！と、それだけで今までも、今も変わらない気持ちで野球をしているとお父さんが言っております。誰もが成しえない結果も出されておりますが、楽しい心情で歩んで来たことを思うのです。大変さや苦労を超える前向きな日々が思い描けます。

私たちの毎日に目を向けてみますと、大谷翔平さん程では無いにしても、乗り越えなくてはならないことが毎日のように出て来ますよね！上手く行かないことが出て来ますよね！朝のテレビで今日の運勢を聞いて力を貰って家を出る人も居るでしょうが、きっと、それぞれに道を見付けて気持ちの整理を付けて、行動に移すことを積み重ねておられるのだと思います。大概の事は何とかこなって行くものです。周囲の力で！しかし、人間には競馬で言えば第四コーナーを過ぎてから、本気で力が出せたり、また、誰もが、その先に夢を抱いて、希望を抱いて生き抜いて行く力が備えられて居るのではないのでしょうか。毎日の生活の中でも行動の原点は、幸せになりたい！気持ちの良い生活を送りたい！と立ち上がるのではないのでしょうか。この世には絶対ということなのです。幸も不幸も長くは続かないものですよ！と安心とも落胆とも受け止められる言葉も言われますが、私たちの強いところは、夢を持てること、希望を抱けるところに在るのではないのでしょうか。心地よく幸福感を味わえる時は周囲に感謝して、そうでない状況にある時こそ、第四コーナーであります。そうです、同じ状況が永久には続かないのが世の常なんですから、この時は自分のエネルギーを貯める時期、目をそらさないで受け止めながら、夜明けを待ち、また立ち上がり動けるのですから！目の前の起きた難問と思えることも、沖縄の方言に、なんくるないさー！北海道の方言に、しかたないべさー！このようにして乗り切る人たちの、心の安定を図りながら元気に生きる日本人の仲間が居ることも、心の隅に置きながら置かれた環境で、意気軒昂に生き抜く心掛けが大事なところかと思うのです。

いつでも夢を！ 歌謡曲にもこんなタイトルの歌がありました。私達も、これまでも夢を持ち続けて生きて来たように思います。幼い時代から周囲の人たちによる影響や育てられた環境は、どなたもそれ以降の歩みを決定づけられ、年齢と共に具体的な楽しみや目標も沸いて来るものです。幼稚園時代は環境が70パーセント！言い切る学者もおられます。この時代から夢を語れ、夢を聞いてもらえる環境の中で成長して貰いたいものです。いつでも、いつまでも夢を抱きながら私達も暮らして参りましょう。